

第7回 新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会
議事概要

1. 日時：令和3年10月29日（金）17：00～18：30
2. 場所：中央合同庁舎第2号館低層棟共用会議室3B（WEB会議併用）
3. 出席者：石田委員、北嶋委員、竹岡委員、寺井委員、吉田委員、
西田委員、岡安委員

4. 議事（概要）

（1）開会

（2）地方版図柄入りナンバープレートについて

資料1-1、1-2、1-3により事務局から説明後、議論を行った。

○事務局の説明

- ・地方版図柄入りナンバープレートの導入地域について、次回は令和4年度中の募集開始を目指している。
- ・地方版図柄入りナンバープレートの現状や、全国の自治体へ行ったアンケート調査の結果を踏まえた課題を整理した。

○質疑概要

委員から主に以下のような意見をいただいた。

- ・ユーザーに図柄デザインが気に入られるかが申込件数に大きく影響しており、図柄の変更が可能となるよう議論しても良いのではないかと。
- ・近頃増加しているカーシェアやレンタカーへの取付けを推進してはどうか。
- ・申込件数があまりに少ない場合は、図柄を変更・廃止させることも検討してはどうか。
- ・ユーザーに図柄デザインが気に入られるかが一番のポイントなので、ユーザーからの人気が高い図柄デザインを選択する必要がある。
- ・図柄デザインの採用については、一般公募のようなやり方は望ましくなく、費用面を考慮しつつプロのデザイナーを活用した上で、複数案を策定し、その上で住民アンケートを実施し、一番人気の高かったデザインを採用すべきではないかと。
- ・自治体が需要調査を行ったうえで図柄を提案して貰うことはできないかと。
- ・今後は、広域の地域ブランディングをどうするかが重要であり、「それぞれの自治体ごとで図柄を認めてよ」ということは方向性が違うのではないかと。
- ・生産効率の向上等の観点から、ひとつの地域で図柄を増やすことは望ましくない。
- ・大板自家用等は殆ど交付されていないが、何かのタイミングで本当に需要のな

いものは、交付対象外とするのも一つの考え方ではないか。

- 一定程度普及しないと図柄が認知されない。普及率について一定の目標を定め、責任を持って取り組む自治体を採用することとしてはどうか。
- 図柄ナンバーをユーザーが見る機会を増やす等ユーザーの図柄ナンバーに対する認知度を上げるような仕掛けができないか。
- 自治体、カスタマー、ディーラー等、軸となる誰に対してどの価値が適正化されていないかを整理した上で施策を検討してはどうか。
- 寄付金をクラウドファンディングのように「ここを目指して頑張りましょう」という目標を設定し、自治体中心にユーザーにアピールすることをお願いしてみてもどうか。

(3) その他報告事項について

資料2により事務局から説明を行った。

○事務局の説明

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの申込期間が9月30日までで終了し、通算申込件数は約289万件であった。
- 新たな全国版図柄入りナンバープレートは4月半ば頃からの交付開始を予定している。

(4) 閉会